【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公開番号】特開2000-34343(P2000-34343A)
【公開日】平成12年2月2日(2000.2.2)
【出願番号】特願平10-204823
【国際特許分類第７版】
　Ｃ０８Ｇ　63/88
　Ｃ０８Ｇ　63/85
【ＦＩ】
　Ｃ０８Ｇ　63/88
　Ｃ０８Ｇ　63/85

【手続補正書】
【提出日】平成17年7月7日(2005.7.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　エステル化工程と重縮合工程を含むポリエステルの製造工程において、重縮合工程から回収される重縮合触媒を含んだグリコールを、下記の工程順で処理し、重縮合触媒を分離回収することを特徴とする重縮合触媒の回収方法。
（１）蒸留工程
（２）熱水溶解工程
（３）濾過工程
（４）濃縮工程
【請求項２】
　蒸留工程は、回収グリコールを用いて１５０～２１０℃の温度で１３３０～６６５００Ｐａの減圧下、１～１０時間行われることを特徴とする請求項１記載の重縮合触媒の回収方法。
【請求項３】
　熱水溶解工程は、蒸留工程後の固形物に純水を加えた後、５０～１１０℃の温度で１～５時間行われることを特徴とする請求項１又は２に記載の重縮合触媒の回収方法。
【請求項４】
　濃縮工程は、濾過工程後の濾過液を用いて９０～１１０℃の温度で１３３０～６６５００Ｐａの減圧下、１～５時間行われることを特徴とする請求項１～３いずれかに記載の重縮合触媒の回収方法。
【請求項５】
　重縮合触媒がゲルマニウム化合物であることを特徴とする請求項１～４いずれかに記載の重縮合触媒の回収方法。